

脱IT初心者「社長の疑問・用語解説」(第54回)

明朗会計のクラウドストレージ

2022.06.22



IT初心者の社長にも、分かりやすく理解できるようにITキーワードを解説する本連載。今回は「クラウドストレージ」を説明する。クラウドストレージを使えば、社内・社外で情報を共有しながら業務を進められる。IT初心者の社長もクラウドストレージを使ってみたくなるはずだ。

「社長、社内だけでなく取引先と大容量データのやり取りが増えています。そろそろクラウドストレージを導入しませんか」(総務兼IT担当者)

「何？クラっとする？また、何かたくらんでいるな」(社長)

「クラっとなんてしていません。私はいつもシャキッとしています。データをクラウド上に保管するサービスをクラウドストレージと呼ぶんです。いろいろと便利なんですよ」

「いろいろって、いつも雲をつかむような話だな。ワシが分かるように説明しなさい」

どこからでもデータを利用できるクラウドストレージ

クラウドとは、企業・ユーザーがシステムやアプリケーションをネットワーク(インターネット)経由で利用する形態をいいます。ストレージはデータの保存・保管を意味します。ストレージは通常データセンターの中にあります。

つまり、クラウドストレージはクラウド上のストレージにデータを保管できる仕組みをさします。クラウドに接続するインターネット環境があればどこからでもデータを利用できます。

クラウド上のデータにどこからでもアクセスできる



Q クラウドストレージのメリットは何ですか… [続きを読む](#)